

講座報告

女性への暴力ゼロ運動 特別講座

見えない暴力に気づいていますか? ～言葉や態度で心を傷つけることもDVです～

令和2年11月10日(火)14:00~16:00 ムープ5階 大セミナールーム

【講師】黒崎合同法律事務所 弁護士 東 敦子さん 戸畠警察署生活安全課 主任 原 真一さん

ムープでは毎年11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に連動し、女性への暴力ゼロ運動を実施しています。今年度はいわゆるモラハラについて学びました。モラハラとはどういうものか、被害を受けている方にできることは何か、離婚を考えた時に何をするべきか等について東弁護士から具体的な事例を通してお話しいただきました。また、戸畠警察署生活安全課の原主任からは警察の立場から助言をいただきました。参加された皆さんから多くの質問をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。



パープル・ライトアップ

令和2年11月12日(木)~25日(水)17:30~21:30

内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12日~25日)に合わせ、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなみ、北九州市立男女共同参画センターが入居する北九州市大手町ビルを紫色にライトアップする「パープル・ライトアップ」を実施しました。

【おとこの魅力アップシリーズ】

コーヒー男子

令和2年9月13日(日)

【講師】かとう珈琲
加藤 詔子さん



おもてなし男子

令和2年10月17日(土)

【講師】Ohana Kitchen
主宰 ちはなさん



コーヒー豆の種類や特徴、抽出器具、コーヒーの抽出方法などの説明後、各自で実践しました。先生から教わった「おいしく淹れるポイント」に気をつけながら、自分好みのオリジナルコーヒーを何度も練習しました。

キッシュにスペアリブ、具だくさんのアヒージョと華やかで豪華な料理ですが、手間をかけず気軽に大切な人をお招きできる食卓が出来ました。「美味しく、見た目もとてもきれいで感動しました」「簡単にできたので、自宅でも作ってみます」という声が多く聞かれました。

介護男子

～いざとなったらどうする?～

令和2年10月17日(土)、11月1日(日)、
11月14日(土) 全3回



超高齢社会を迎え、男性が親や妻など家族の介護を担うことも増えている現代。「介護男子」は、介護に直面することになった時のために、男性を対象にした事前に基礎知識を学ぶ講座です。参加者14名は、3回に分けて介護保険サービスを主軸に、北九州の社会資源、家族の連携について考え、福祉用具の上手な活用方法を学んだり、高齢者疑似体験、認知症サポーター研修なども行いました。最終回に行う講座修了生を交えての意見交換会は、介護経験者のお話を聞けると好評となっています。また、普段なかなか介護に関する不安や悩みを話す機会のない男性にとって、貴重な仲間作りの場にもなっています。

講座修了生で作るグループ「ケアメンクラブ」もムープにて隔月で開催され、悩みやストレスをお互いに語り合い、親交を深めています。

第14回「北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰」受賞者決定!!

本市では、女性の職業生活における活躍や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取り組み内容を広く市内企業や市民の皆さんに紹介しています。

この度、第14回の表彰企業等を下記のとおり決定し、北九州市役所内にて表彰式を行いました。



北九州市長と受賞者のみなさま



光和精鉱株式会社 廃棄物処理業

職域拡大
働き方の見直し
イクボス



女性活躍に向けた改善改革や働き方改革により、社員を大切にした働きやすい環境づくりを自然体で実現



園川 輝美さん

株式会社プロデュース
お里の家きらめき本城管理者



得意の仕組みづくりを活かして、スタッフの「いくつになんでも輝ける人生」を応援するイクボス



株式会社山本工作所 金属製品製造業

働き方の見直し
イクボス



伝統ある製造現場で短期間で様々な取り組みを加速化し、社員の満足度向上や意識改革を推進



大田 純子さん

公益財団法人地球環境戦略
研究機関(IGES)研究員



夫の転職で地方に移住しながらも、自身の専門性を活かして新たなキャリアの形成を実現



株式会社メンバーズウェブガーデン北九州 インターネット附随サービス業

キャリア形成支援
働き方の見直し



全社的な取り組みに加え北九州独自の視点で働きやすさを推進、社員とともに長期的な発展を目指す



高橋 理沙さん

ヤフー株式会社
北九州センター



社内で業績を上げながら育児コミュニケーションづくりにも貢献する女性管理職のロールモデル

各受賞者の詳細につきましては、HP「はじめよう!ワーク・ライフ・バランス」をご覧ください。
(<http://wlb-kitakyushu.jp/commendation/>)

お問い合わせ 北九州市総務局女性活躍推進課 TEL:093-582-2209
(北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会)



(公財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)からのお知らせ

CSW65 パラレルイベント(若者による討論)

気候変動とジェンダー: 環境活動に女性の視点を

■日 時 3月21日(日) 14:30~16:00(日本時間)
■オンライン配信 (Zoom)



ニューヨークで毎年3月に開催される国連女性の地位委員会(CSW)。今年の第65回年次会合(CSW65)会期中に、KFAWがパラレルイベントを実施します。日本の市民団体による災害や廃棄物への対策、また産官民連携による低炭素化推進の取り組みを紹介するほか、将来を担う若い世代のパネリストを公募し、女性に焦点を当てた環境活動について発表していただきます(発表言語は英語)。

お申込み・お問い合わせ (公財)アジア女性交流・研究フォーラム TEL:093-583-3434

第32回研究報告会

■日 時 3月16日(火)14:00~16:00

■オンライン配信 (Zoom)
(視聴会場) ムープ5階 大セミナールーム

主なテーマ

- ①国際家族年前後の家族をめぐる論点の整理
(報告者 蜂須賀 真由美さん、佐野 麻由子さん)
- ②地方自治体によるパートナーシップ制度の現状と課題
(報告者 原田 いづみさん、大野 友也さん)

デンマークの女性が輝いているわけ 幸福先進国への社会づくり

デンマークの男性と国際結婚をし「幸福先進国」に暮らして半世紀。二人の日本女性が書いた『デンマークの女性が輝いているわけ』は、読めば読むほど学ぶことが多い本だった。

ジェンダーギャップ指数121位の日本と、14位のデンマーク。デモクラシーの根づいた国と、そうでない国。投票率が85%もある北欧の国と、50%そこそこの日本…と、比較をすればキリがないほど福祉政策や社会制度の違いに羨ましさでいっぱいになる。が、私がこの本に感銘を受けたのは、政策や社会システムの違いよりも、「人間のありよう」に焦点を当てて書かれていたからだった。

隣の芝生の青さばかりを羨ましがっている姉に、遠く離れて暮らす妹が心配して送ってくれたエールのように思え、胸にしみたのである。

「困っている人がいたり、なにか問題が起きたら、『それはおかしい!』と声を上げ何でも国任せ、人任せにしないこと」「あなたたちが今後成果を出していくには、女性という大きな共通項でまとまり、組織して、全国的なうねりを作っていくこと。それしかないとと思うわ」

そんな当たり前なことが、日本に暮らす私たちは、いつから苦手になってしまったのだろう。

著者の夏代さんと孝子さんがこの本で伝えたかったことはひとつである。

不満ばかり言っていても社会は変わらない。周囲と連携して、まず自分自身が動くことしかない。「自分の人生を自分で選ぶ」デンマークの人びとのように。

まつ ひさこ
映画監督・作家 松井 久子さん



- 澤渡夏代 プラント 小島ブンゴード孝子 著
- 大月書店
- 2020年初版
- 1,800円(税別)

自分の人生を自分で選ぶ

デンマークの人びとは、幼い頃から「個」を基本に育てられ、皆が「自分はこれで良いのだ。この社会にいる価値がある」と思っているという。褒めて育てる教育を受けていると、自然に自己肯定感が身について、大人になっても「決定に参加する機会を持ち、責任感を抱き、社会に影響力を持つことができる自分」を生きることができる。

それが民主主義の理念に支えられて、真に自立した人びとの社会だと思う。

保育園に通えない子どもたち —「無園児」という闇

驚くことに、本邦の0~2歳児の就園率は他の先進国に比較して極めて低い。その要因のひとつは、認可施設を利用するため「保育の必要性の事由」を明確にした上で、自治体への申請と利用認定の段階が必要である点とされている。その事由の中でも、特に就労要件は大きな障壁となっている。就労要件を必要とする「一時預かり事業」の普及も低く、子育て支援への予算不足は否めない。

地方行政自治体は、既に既存の調査を通じて無園児を抱える家庭を把握している。一方で、「保育園に通えない子どもたち」を抱える無園児家庭を「無償化」となった幼児教育施設への通園に繋ぐ取り組みを始めている地方行政自治体は現在ほとんどない。貧困、DV、子ども自身の発達障害など複雑に絡み合った無園児家庭こそ社会の助けを求めている。「助けを求める」すなわち「支援を受け入れる」余裕さえなくした家族は、「児童虐待」という坂道を、速度を上げて転げ出す。

本書では「無園児の不平等」という障壁を取り除くために、具体策をいくつか取り上げている。「なぜ無償化では不十分なのか」「義務化へのハードルとはなにか」を著者自身の研究結果をもとに分かりやすく解説している。無園児への支援には、それぞれの家庭における多様性を許容した形での「幼児教育の義務化」を早急に取り組むべきだと訴える。

子ども達の育ちや遊びの環境を第一に、その質の向上を常に目指す社会には、「弱者を守る」穏やかな社会とその将来が待っている…そう信じたい。

北九州市立八幡病院
統括部長・小児総合医療センター長 神薦 淳司さん

児童虐待

「児童虐待」とは、児童虐待の防止等に関する法律 第二条で「保護者がその監護する児童(18歳に満たない者)について行う行為」と定義されている。身体的虐待、ネグレクト、性的虐待、心理的虐待の4つの主要なタイプとし、育児放棄、親の薬物使用、人身取引も虐待またはネグレクトと定義している。これらのタイプの虐待は個別に見られることがあるが、多くが複合的に発生している。



- 可知 悠子 著
- 筑摩書房
- 2020年初版
- 800円(税別)

男性育休の困難 取得を阻む「職場の雰囲気」

育児・介護休業法は労働者からの育休取得申請を企業は拒否できないと定めている。だが、実際は職場の雰囲気が取得申請自体をためらわせている面がある。

本書の副題は「取得を阻む『職場の雰囲気』」であるが、当事者の規範意識を読み解く事例分析により、この雰囲気というつかみどころのない問題の正体を明らかにしようとしている。その鍵となる概念は「時間意識」である。職場で共有されている「仕事優先」の時間意識は、仕事と育児の優先順位を柔軟に変える時間意識を容認せず、仕事か育児かの二者択一を男女に迫る。このとき男性に仕事を選ばせる重要な要素として、家計を支える稼ぎ手としての役割意識が挙げられる。つまり、労働時間の削減より賃金を優先する意識が男性育休を阻む雰囲気の中核にあることを著者は看破する。その観点から、男性が育休を取得しやすい雰囲気をつくるヒントとして、長時間労働の対価を残業手当という金銭ではなく、ドイツの労働時間貯蓄制度のように休みで相殺することの重要性も説いている。

低迷する男性育休取得率を上昇気流に乗せるため、企業からの働きかけで男性労働者に育休を取らせる「男性育休義務化論」や、育休中の所得保障拡充を主張する政治家や運動家の声をしばしば耳にする。そうした施策に育休を取りやすくなる効果が期待できるか、本書を読めば答えは明らかであろう。近年盛り上がっている実践的な男性育休推進論とは一線を画す冷静な研究書であるが、実務家にも一読を勧めたい。

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 主任研究員 池田 心豪さん



- 齋藤 早苗 著
- 青弓社
- 2020年初版
- 2,000円(税別)

男性育休

1991年制定の育児休業法(現育児・介護休業法)から男性も育児休業(育休)の対象となり、次世代育成支援対策推進法(次世代法)にもとづく優良企業(くるみん)認定基準に男性育休取得実績を含める等、政府はその取得促進に努めている。男性の育休取得率は近年上昇傾向にあるが、7.48%(2019年)にとどまっており、女性の83.0%(同年)と大きな差がある。その要因として制度の周知不足とともに職場の雰囲気が問題になっている。

保育園に通えない子どもたち —「無園児」という闇

驚くことに、本邦の0~2歳児の就園率は他の先進国に比較して極めて低い。その要因のひとつは、認可施設を利用するため「保育の必要性の事由」を明確にした上で、自治体への申請と利用認定の段階が必要である点とされている。その事由の中でも、特に就労要件は大きな障壁となっている。就労要件を必要とする「一時預かり事業」の普及も低く、子育て支援への予算不足は否めない。

地方行政自治体は、既に既存の調査を通じて無園児を抱える家庭を把握している。一方で、「保育園に通えない子どもたち」を抱える無園児家庭を「無償化」となった幼児教育施設への通園に繋ぐ取り組みを始めている地方行政自治体は現在ほとんどない。貧困、DV、子ども自身の発達障害など複雑に絡み合った無園児家庭こそ社会の助けを求めている。「助けを求める」すなわち「支援を受け入れる」余裕さえなくした家族は、「児童虐待」という坂道を、速度を上げて転げ出す。

本書では「無園児の不平等」という障壁を取り除くために、具体策をいくつか取り上げている。「なぜ無償化では不十分なのか」「義務化へのハードルとはなにか」を著者自身の研究結果をもとに分かりやすく解説している。無園児への支援には、それぞれの家庭における多様性を許容した形での「幼児教育の義務化」を早急に取り組むべきだと訴える。

子ども達の育ちや遊びの環境を第一に、その質の向上を常に目指す社会には、「弱者を守る」穏やかな社会とその将来が待っている…そう信じたい。

北九州市立八幡病院
統括部長・小児総合医療センター長 神薦 淳司さん

& MORE 手に取りやすい一冊

親子で話そう!性教育

(株)Kids Public「産婦人科オンライン」代表 重見 大介さん



- 浅井 春夫
良 香織 監修
- 朝日新聞出版
- 2020年初版
- 1,200円(税別)

本書は、「性教育に関する対話」について、主に保護者向けに書かれた書籍である。読みやすいレイアウトで、かつその内容が「セックスなど性的話題の説明方法」だけに関する狭い視野ではない点が素晴らしい。つまり、「包括的性教育」を主たるテーマとし、副題としても「子どもを性被害から守るために大切なこと」と設定しているのだ。

近年、日本に不足している概念として「包括的性教育」が呼ばれている。これは、「性に関する知識やスキルだけでなく、人権やジェンダー観、多様性、幸福を学ぶ」ための重要な概念だが、日本ではまだ十分に認知されているとは言い難い状況である。

本書は6つの章で構成されている。1・2章では、家庭で気軽に性教育を始める上でのコツを紹介しつつ、なぜこれが重要なのかを分かりやすく説明しているため、読んでいてスッと頭に入りやすい。続く3・4章では、子どもを危険(対人・メディアの両面)から守るために、どのようなポイントを押さえて日頃から対話をしておくことが大切か、具体例とともに解説している。最後の5・6章では実践編として、実生活でも子どもに聞かれる機会が多いトピック・質問例を挙げながら、説明の仕方についてアドバイスしている。「赤ちゃんはどうやってできるの?」、「子どもがアダルトサイトを見ている」など、まさにどうしたらよいかわからず困っていた!というご家庭も多いのではないだろうか。

最後に、産婦人科医である私の目から見ても、本書で使われている用語や内容はどれも正確で、安心して読むことができた。本書を通して、適切な性の知識や多様性、人権などについて親子で対話する機会をぜひ持ていただきたい。これから社会を担う子どもたちにとって、非常に大切な時間となることは間違いない。

令和3年度 おすすめ講座紹介

働く女性に贈る!

お役立ちワンポイントセミナー

毎回異なるテーマで働く女性に役立つ講座を開催します。お気軽にご参加ください。



心も輝く!キャリアアップ&ビューティー講座

毎日をもっと楽しく、輝くために!新年度のスタートにピッタリの講座です。

- 日 時 4月3日(土)、10日(土)、24日(土)(全3回) 13:30~16:00
- 定 員 20名(先着順) ■受講料 1,500円
- 対 象 働いている女性、またはこれから働きたいと思っている女性
- 託 児 有(6ヶ月~就学前まで) ※要予約(1人1回500円)

2月24日(水)
から受付開始

ストレスケアの処方箋

新しい環境で疲れやストレスを感じやすい時期に、自分に合った
ストレスケアの方法を身に付けて生き生きと自分らしく過ごしましょう!

- 日 時 5月14日(金)、21日(金)、28日(金)(全3回) 19:00~20:30
- 定 員 20名(先着順) ■受講料 2,000円 ■託 児 無
- 対 象 働いている女性、またはこれから働きたいと思っている女性

4月3日(土)
から受付開始

いまだきママのリフレッシュ講座

自分らしく生き生きと過ごすための講座です。新しい刺激や、ママ友を見つけて、
心と身体の健康を維持するために育児や仕事、家事などのストレスを解消しましょう!

- 日 時 4月6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火)(全4回) 10:00~12:30
- 定 員 12名(抽選) ■受講料 3,000円
- 対 象 妊娠中~就学前の子どもがいる母親
- 託 児 有(6ヶ月~就学前まで) ※要予約(1人1回500円)

申込締切
3月5日(金)

お申込み・お問い合わせ 事業課 TEL:093-288-6262 FAX:093-583-5107

お知らせ

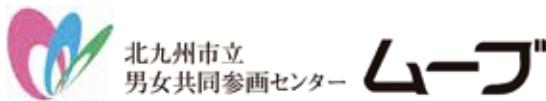
レディスもじ・レディスやはたの愛称で親しまれた
市立勤労婦人センターは3月末をもって閉館します

もじは「門司生涯学習センター大里分館」に、やはたは「八幡東生涯学習センター尾倉分館」に
4月から変更となります。これまでご利用ご協力いただき、誠にありがとうございました。

『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』

2014年に発行した統計データ集に最新のデータを追加するとともに、「女性の活躍推進実態調査」による北九州市の女性の活躍推進に関するデータを加えた刷新版です。

3月末
発行予定



〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL:093-583-3939 FAX:093-583-5107
HP:<https://www.kitakyu-move.jp/>
E-mail:move@move-kitakyu.jp



北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者

ア ク セ ス	●西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車 【小倉駅バスセンターから】27 36 45 110 138 【小倉駅入口から】76 150 170 175 197
	●西鉄高速バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車 【天神バスセンターから】いとうづ号
	●JR西小倉駅より徒歩15分
	●北九州都市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分

地下駐車場／100台収容 30分毎100円(車高制限は2.1m)
(8:15~22:15 ただし入庫は22:00まで)



ムーブのFacebookページでイベント情報をはじめ、いろいろな情報を
発信しています。みなさまの「いいね!」をお待ちしています。